

整理番号 2019M-016  
補助事業名 2019年度 情報通信技術(ICT)等を利用した生産システムにおける人の安全確保を実現するための補助事業  
補助事業者名 一般社団法人日本機械工業連合会

## 1 補助事業の概要

### (1) 事業の目的

既存の安全確保の考え方や技術では対応が困難なICTを利用した生産システム、また人と機械が協調して作業を行う場合に生じるリスクや安全の考え方等に関して、現状の課題と今後の在り方について検討を行い、新しい未然防止安全概念の確立を目的とする。

### (2) 実施内容

(<http://www.jmf.or.jp>)

平成2019年度は6回の会合を開催し、生産システムにおけるセキュリティ脅威検討の基本的な考え方を踏まえ、リスクアセスメント及びリスク低減方策について検討を行った。報告書の内容としては、多数の被害シナリオのうち、重篤な人的被害に的を絞り、機械安全の担当者が使い易いガイドとしてとりまとめた。

また、機械安全普及に係る講演会として「機械安全規格の紹介」－機械安全規格でリスクを低減しよう！－を実施した。



調査研究部会・会議風景



講演会・聴講風景

## 2 予想される事業実施効果

既存の安全確保の考え方や技術では対応が困難なICTを利用した生産システム、また人と機械が協調して作業を行う場合に生じるリスクや安全の考え方等に関して、セーフティの専門家とセキュリティの専門家の融合を図りながら、セキュリティの対策も考慮した安全な生産システム構築について検討を行い、ガイドラインとしてとりまとめたので、将来ICTを利用した生産システム構築において活用されることが予想される。

また、機械安全普及に係る講演会「機械安全規格の紹介」－機械安全規格でリスクを低減しよう！－を実施したことにより、労働災害防止活動の強化と機械安全普及の促進に役

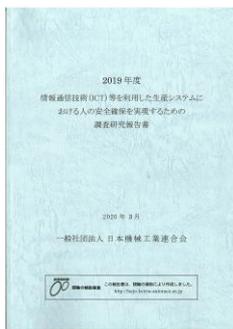
立つものと期待できる。

### 3 補助事業に係る成果物

#### (1) 補助事業により作成したもの

2019年度情報通信技術 (ICT) 等を利用した生産システムにおける人の安全確保を実現するための調査研究報告書

(<http://www.jmf.or.jp/houkokusho/2345/1.html>)



報告書表紙

目次	
1. 概要	1
2. 調査の目的と調査の範囲	2
3. 調査の方法	3
4. 調査の結果	4
5. 調査の結論	5
6. 調査の今後の課題	6
7. 調査の参考資料	7
8. 調査の問い合わせ先	8
9. 調査の報告書	9
10. 調査の報告書の公表	10
11. 調査の報告書の利用	11
12. 調査の報告書の保存	12
13. 調査の報告書の廃棄	13
14. 調査の報告書の管理	14
15. 調査の報告書の更新	15
16. 調査の報告書の削除	16
17. 調査の報告書のバックアップ	17
18. 調査の報告書の復元	18
19. 調査の報告書の移行	19
20. 調査の報告書の移行先	20
21. 調査の報告書の移行方法	21
22. 調査の報告書の移行期間	22
23. 調査の報告書の移行責任	23
24. 調査の報告書の移行記録	24
25. 調査の報告書の移行完了	25

報告書目次

#### (2) (1) 以外で当事業において作成したもの

該当なし。

### 4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： いっぽんしゃだんほうじんにほんきかいこうぎょうれんごうかい 一般社団法人日本機械工業連合会

住所： 〒105-0011

東京都港区芝公園三丁目5番8号

代表者： 会長 おおみや ひであき 大宮 英明

担当部署： ひょうじゆんかすいしんぶ 標準化推進部

担当者名： よしだしげお 課長 吉田重雄

電話番号： 03-3434-9436

F A X : 03-3434-6698

E-mail : [hyojunn@jmf.or.jp](mailto:hyojunn@jmf.or.jp)

URL : <http://www.jmf.or.jp>